

平成28年第2回大野城市議会6月定例会一般質問通告

○本会議3日目（一般質問）

平成28年6月15日 午前9時30分（於 議 場）

氏 名	件 名
平井 信太郎	1. 大規模災害時に於ける本市の対応について (1) 大規模災害を想定して、現状はどのように取り組みを行っているか (2) 備蓄について (3) 今後の防災対策について (4) 今後の防災についての提案
森 和也	1. 都市計画について (1) 水道加入金について (2) 建ぺい率・容積率について (3) 敷地面積の最低限度の緩和について (4) 空き家対策について
関井 利夫	1. 災害時の本市の対応について (1) 大規模災害の時に支援する・支援される「災害協定」について (2) その他、災害時に支援を受けられるものは、どのようなものがあるのか (3) 災害時の自治組織の働きについて (4) 災害時の避難場所となる各地区施設の機能及び地理的条件について
松田 美由紀	1. 小中学校の学級担任が決まっていないという不測の事態について (1) 本市の小中学校で学級担任が決まらないままの状態が始業式、入学式を迎えている現状がある。現在の状況はどのようになっているのか (2) なぜ教員不足になったのか。今回のように学級担任が決まらないことは過去にも起きていたのか (3) 保護者から市への問い合わせや対応について (4) 近隣市町村や福岡県の教員不足の状況はどうか (5) 一昨年から福岡県内の他の自治体で教員不足のため臨時教員免許を持つ現役の大学生を教員として任用する事例がある。本市でも起こりうるのではないかと (6) 今後の対策について (7) 小中学校での教員の早期退職者の推移はどのようになっているのか 2. 特別支援学級・太宰府特別支援学校について (1) 特別支援学級数や児童数の推移について (2) 太宰府特別支援学校へ通っている児童数の推移について（小・中学校それぞれの新入生の総数も）

氏 名	件 名
	<p>3. がん検診について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 乳がん検診について (2) 胃がん検診について (3) 個別検診の拡充について (4) 個別受診勧奨・再勧奨の実施内容について
松崎 百合子	<p>1. 届出保育所と待機児童対策、子育て支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 「大野城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では保育所等定員増300人としている。実現の計画について (2) 現在の待機児童数について (3) いわゆる「無認可保育所」が「届出保育所」として市の施策に導入された経緯と見解について (4) 届出保育施設の数と園児数及び本市の園児数について (5) 待機児童支援事業の内容と実績について (6) 届出保育施設運営支援事業の内容と実績について (7) 届出保育施設健康診断費補助事業について (8) 届出保育施設研修派遣補助事業について (9) 届出保育施設が認可保育所になる条件は (10) 届出保育所の保育料の保護者負担について (11) 待機児童ゼロへの対策や、大野城市で育つすべての子どもと子育て支援に向けて、届出保育所と更に連携を深め計画していくべきではないか
山上 高昭	<p>1. (仮称)大野城心のふるさと館と大野城市のにぎわいづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 石井久氏の大野城市に対する貢献について (2) 大野城市の魅力発信について (3) 国指定の特別史跡「水城跡」「大野城跡」築造1400年に向けた取り組みについて

○本会議 4 日目（一般質問）

平成28年 6 月16日 午前 9 時 30分（於 議 場）

氏 名	件 名
河村 康之	1. 災害時における福祉避難所について (1) 福祉避難所施設について (2) 福祉避難所の利用者について (3) 平成28年熊本地震を受けての今後の対応について 2. 学校での「医療的ケア」の必要な児童・生徒への対応について (1) 医療的ケアの必要な児童・生徒の状況について
松下 真一	1. 災害対策基本法と個人情報利活用について (1) 改正災害対策基本法について (2) 災害弱者に対する対応について (3) 大野城市災害対策本部の事務分掌について (4) 災害救助法を適用して支援する場合の留意点について
大塚 みどり	1. 障害者差別解消法の推進について (1) 障害者差別解消法について 2. 障がい者福祉の充実したまちづくりへ (1) 障がい者への「合理的配慮」の充実について
清水 純子	1. 地域公共交通の活性化とコミュニティバス (1) コミュニティバスまどか号は、2003年（平成15年）3月から運行開始。この間ルートの新設、変更、ダイヤ改正等を実施しながら今日に至っている。その運行状況について (2) 平成19年10月「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が施行された。昨年8月、交通政策審議会、交通体系分科会地域公共交通部会から「地域公共交通の充実に向けた新たな制度的枠組みとその活用に関する基本的な考え方」をとりまとめ、最終報告がされています。それを踏まえて、地域公共交通総合連携計画の策定をどうするのか 2. 吹き付け材等に使用されているアスベスト（石綿）について (1) アスベストは、空気中に飛散したものを吸い込むと肺がんなどの原因になると云われている。主に建物の耐火材や断熱材に使用されてきた。大野城市の学校を含む公共の建物には、使用されていないと考えるが、どのようになっているのか (2) 阪神・淡路大震災、東日本大震災、平成28年熊本地震においても、倒壊建物からアスベストが飛散。熊本の被災地ではその対応がなされている。国は、2006年に製造・使用を原則禁止としたが、民間の建物について、把握は出来ているのか。その対応について
井福 大昌	1. 共同溝について (1) 本市の共同溝の状況はどうなっているか (2) 一部地域のみ電線が地下に埋設されているのはなぜか (3) 電線のみならず、ライフラインに関わるインフラを地下共同溝に収納できれば、街の景観、防災、交通渋滞緩和にも役に立つと

氏 名	件 名
	予想するが、今後の市の共同溝に関わる方針と計画はどのようなになっているか